

# 成人肺炎球菌感染症

## どんな病気？



肺炎球菌がひきおこす主な感染症は、細菌性髄膜炎、菌血症、気管支炎、中耳炎などがあります。肺炎球菌は、肺炎の原因となる細菌として見つかる頻度が高く、高齢者や基礎疾患を持つ方などは、肺炎にかかりやすく症状も重くなりやすいことが知られています。ペニシリンなどの抗菌薬が効きにくい肺炎球菌も見られることからワクチンによる予防が大切になります。

## ワクチンの接種対象

定期接種として、65歳以上の方及び60歳から65歳未満の方で心臓、じん臓、呼吸器などに主な病気がある方を対象として、23価多糖体ワクチンが使用されています。